

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 山形県寒河江市

自治体名：山形県 寒河江市

担当課名：寒河江市教育委員会 学校教育課 学校再編整備室

電話番号：0237-85-1497

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	総面積139.1 km <sup>2</sup>
人口	39,636 人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	1,051 人
部活動数	38 部活 (文科系を含む)
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

全国的な少子化の進展、市内の生徒数の減少、学級数減による教員数の減少、そのような要因の重なりによって市内中学校の部活動数が減少している。これまでのような部活動の持続は困難になっている。

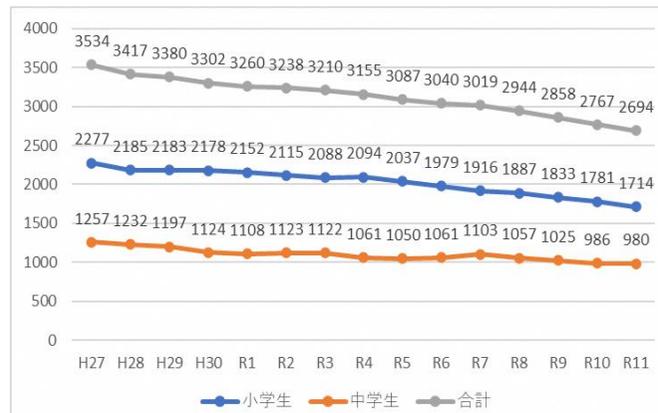
本市では、「生徒の主体性を育む活動を支援」できるように、「生徒が主体的に参加できるスポーツ・文化芸術活動環境の構築」と「教師の時間外勤務時間の削減」を目指して、寒河江市中学校部活動改革検討委員会を組織し、学校部活動と地域クラブの在り方、それを取り巻く環境について話し合いを進めてきた。

寒河江市の中学校では、令和7年度に部活動が1・2年生の活動に切り替わるときから、休日の学校部活動は行わないと方針を決めた。

学校部活動の地域移行に関わり、本市では地域クラブに活動を移行をしている学校部活動は、まだない。そのため、生徒の休日の活動場所は選択肢が少ない状況である。しかし、令和4年度から取り組んでいる検討委員会の話し合いの効果もあり、競技連盟やスポーツ少年団の単位団の中で、中学生の活動場所をつくらうとしている動きが見えてきている。

本市で行ったアンケート調査によると、在校の中学生は、休日は活動をしないと考える生徒の割合は、休日の活動を考える生徒の数を上回っている。一定の生徒は、休日の活動を望んでいるため、活動場所の創出が課題となっている。

寒河江市立学校児童生徒数の推移



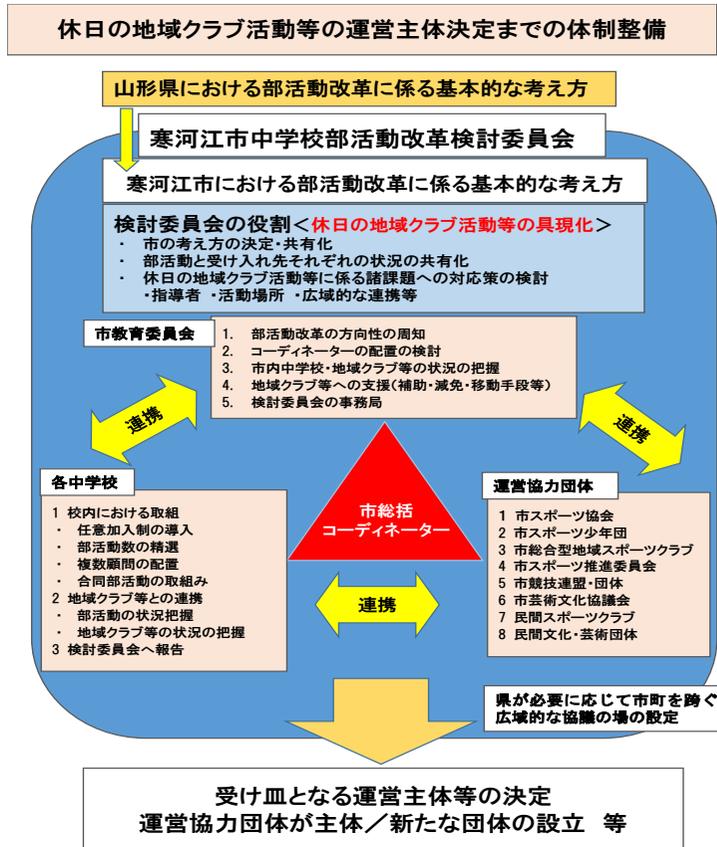
出典:山形県教育関係者名簿

### 【課題】

休日に学校部活動を行わないこと、生徒数が減少すること、休日の活動を生徒が判断することにより、休日の活動を担う地域クラブの創出と継続的な運営が課題となる。

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

- ・学校教育課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携、学校に関する事項について、地域クラブとの連絡調整について
- ・生涯学習課…中学生の地域文化活動の環境整備・文化芸術団体のニーズの把握
- ・スポーツ振興課…市スポーツ協会、市スポーツ少年団等の関係団体との調整について

## 年間の事業スケジュール

令和6年4月	第1回検討会議 (市内中学校長との会議)
令和6年5月	第1回検討委員会
令和6年7月	第1回指導者研修会
令和6年7月	第2回検討会議
令和6年7月	第2回検討委員会
令和6年8月	部活動コーディネーターの配置
令和6年10月	第3回検討会議
令和6年11月	第4回検討会議
令和6年11月	第2回指導者研修会
令和6年12月	中学生へのニーズ調査 (対象：R7新入生)
令和6年12月	第3回検討委員会
令和7年1月	第5回検討会議
令和7年2月	第4回検討委員会

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	3校	実施した地域クラブ総数	9クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		7クラブ（11部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2クラブ
全体の指導者数	38人	全体の運営スタッフ数	10人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
寒河江ベースボールクラブ	民間クラブ	軟式野球	週 1回	土曜日 8:00～ 12:00	1年：5人 2年：11人	令和6年8月～12月	陵南中学校グラウンド	2人	1人	期間 2,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
寒河江市卓球連盟	市競技団体	卓球	月 8回	休日8:00～ 11:00 平日15:00 ～18:00	1年：12人 2年：21人	令和6年8月～12月	陵南中学校体育館、市民体育館	1人	1人	参加1回につき 100～ 200円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
寒河江市剣道連盟	市競技団体	剣道	月 2回	土曜日 10:00～ 13:00	1年：14人 2年：17人	令和6年9月～12月	南部小学校体育館、南部地区公民館 他	9人	1人	期間 1,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
寒河江Jrバスケットボールクラブ	市競技団体	バスケットボール	週 1回	休日 9:00～ 12:00	1年：13人 2年：16人	令和6年12月	陵東中学校体育館、陵南中学校体育館	12人	2人	期間 200円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に(新)を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
寒河江SBC	民間クラブ	女子ソフトボール	月 4 回	平日19:00 ～21:00 休日9:00 ～12:00	1年：5人 2年：4人	令和6年8月～12月	陵西中学校 グラウン、チエリーナ寒河江	2人	1人	年会費 4,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
寒河江西村山Jac	スポーツ少年団	陸上	週 2 回	平日18:00 ～19:00 休日17:00 ～18:30	1年：1人	令和6年8月～12月	醍醐小学校 グラウンド、大江中学校 グラウンド	5人	1人	年会費 6,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
Bon・クラススポーツ少年団	スポーツ少年団	多種目	月 2 回	休日9:00 ～12:00	3年：6人	令和6年9月～10月	柴橋コミセン、 グリバー寒河江	3人	1人	年会費 3,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
崇武館寒河江支部	スポーツ少年団	空手	週 2 回	平日19:00 ～20:30 休日10:00 ～13:00	2年：2人	令和6年8月～11月	フローラ sagae	2人	1人	月会費 3,000円	その他：地域クラブ
しばはしJVC中学部女子	民間クラブ	女子バレーボール	週 2 回	平日19:00 ～21:00 休日8:00 ～12:00	1年：2人 2年：6人	令和6年8月～12月	柴橋小学校 体育館、柴橋地区公民館	2人	1人	年会費 15,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- なし

# 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

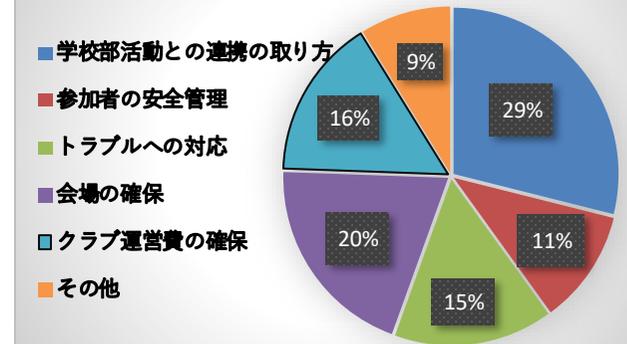
#### 取組事項

- 学校部活動の地域展開を推進する統括コーディネーターを配置し、現状課題の把握につとめる。また、必要に応じて相談や助言を行う。
- 運営団体・実施クラブの運営体制の整備や人材の確保など現状を把握し、持続可能な運営ができるための相談、助言を行う。
- 各種関係会議へ参加し、学校部活動の地域展開にむけた推進のための様々なアドバイス等を行う。

#### 取組の成果

- 統括コーディネーターを学校再編整備室に配置したことにより、関係クラブ団体との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。
- 市生涯学習課やスポーツ協会等、外部と連携を図り、地域クラブ運営団体・実施主体と中学校の連絡調整等を行うことができた。
- 指導者講習会の開催により、地域クラブの指導者の資質向上を図ることができた。また、指導者間での情報交換等を含めたクラブ間の課題等を共有することができた。
- 県のアドバイザーなどの意見を参考に、現状から今後の課題を見据えることができた。組織体制の再構築につなげていきたい。

地域クラブを進める上で課題と思われること



寒河江市地域スポーツクラブ活動体制整備事業  
(地域スポーツクラブ活動への移行に向けた  
実証事業) アンケートより 2024.12

#### コーディネーターの具体的な動きの実績

【総括コーディネーター】

- ・各クラブを巡回し課題等のヒアリング・助言等を実施。(適宜)
- ・検討委員会、協議会等への出席による部活動の地域展開の実態の把握と、学校と関係クラブとの連携を図った。
- ・学校と地域クラブとのパイプ役としてさまざまな成果と課題を共有した。

#### 今後の課題と対応方針

- 地域クラブの活動要件や基準等を踏まえながら、学校部活動と密接な連携の必要性。(持続可能な地域クラブの支援)
- 地域クラブの地域展開がスムーズに進むように、さらなる啓発活動とコーディネート業務の見直し、また、地域クラブ指導者の人材発掘・育成、資質向上の充実の推進。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 指導者研修の内容

###### 【指導者研修】

▷対象：実証事業を受ける地域クラブの指導者及び保護者等。

近隣の町の地域クラブの指導者及び保護者等。  
市内中学校の部活動顧問。

▷目的：生徒に指導する際に必要な知識と技術を学び、より効果的な技術指導と地域クラブの運営につなげる。

▷工夫した点：

- ・ 2回で5コマの講義を行い、すべての講義で違うことが学べるように組んだ。ワークショップ形式を多く取り入れ、参加者参加型を意識した。
- ・ 参加しやすさを考慮し、土曜日の午前中に3時間程度として設定した。
- ・ 本市のみならず近隣の町の指導者へも参加を募った。

##### 種目について

- ・ 種目を限定せずに、地域スポーツクラブ活動に携わる指導者全員を対象にした研修会として開催した。

##### 資格について

- ・ 参加者に受講証明書を発行した。
- ・ 今後、指導者に対して、資質向上のための研修の受講や資格取得を促進する。

##### 指導者研修の参加実績

- ・開催日： 7月13日(土)、11月30日(土)
- ・参加人数： 第1回 21人(10クラブ) 第2回 13人(9クラブ)

##### 受講者の声

###### 参加者アンケート結果(抜粋)

###### 第1回



###### 第2回



###### 参加した地域クラブ指導者の声

「指導例についてもう少し聞きたかった。(いじめの状況を知らない。)」

「内容をもっと絞ってほしい。初めて参加の方は理解できたか心配です。」

「困りごとや悩みをシェアしたり、解決策を探ったり、アドバイスしたりする機会を設けていただきたい。教育委員会にもその内容を把握してほしい。」

寒河江市地域クラブ指導者等研修会アンケートより 2024.7・2024.11

##### 今後の課題と対応方針

- 実証事業に参加する地域クラブの指導者には、必須の研修会とした。参加する全てのクラブからの参加があった。2回の研修会の内容を変えたが、2回連続で参加した方は1名だった。研修の意義の周知や研修内容について今後も検討していく必要がある。
- 講義形式とワークショップ形式を取り入れたが、参加者同士の情報交換の時間の要望もあった。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- 寒河江市部活動改革検討委員会（以下「検討委員会」という）の開催。年4回開催し、部活動改革の現状と課題、進捗状況の確認等を協議する。
- 検討委員会の開催前に、部活動改革に関する検討会議（以下「検討会議」という）を市内中学校長、総括CN、事務局のメンバーで開催し、市教育委員会と中学校の連携、検討委員会の協議題の検討、今年以降の部活動改革の展望などについて年5回（予定）話し合った。

##### 取組の成果

- 検討委員会においては、スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員会、総合型地域スポーツクラブ代表に委員を依頼することで、それぞれの立場からの意見があり、取り入れることができた情報を共有して課題を解決できるように努めた。
- 部活動改革検討委員会では、部活動改革の年間計画、地域クラブの認定のための要綱、地域クラブ指導者等研修会、各競技団体と地域クラブのつながり、学校部活動の現状などについて、協議した。各委員の立場より、ご意見をいただき実際の活動に結び付けることができた。
- 学校部活動と競技団体や地域クラブとのつながりがある種目と少ない種目が明らかにな

##### 検討委員会の実績

- ・令和6年5月24日(金)15:00～
- ・令和6年7月31日(水)15:00～
- ・令和6年12月18日(水)15:00～
- ・令和7年2月12日(水)15:00～

主な議題：

- ・令和6年度部活動改革年間計画について
- ・スポーツ庁による実証事業について
- ・地域クラブの認定に関する要綱について
- ・指導者等研修会について 等

##### 検討会議の実績

- ・令和6年5月10日(金)10:00～
- ・令和6年7月17日(水)10:00～
- ・令和6年10月1日(火)15:00～
- ・令和6年11月29日(金)15:00～
- ・令和7年1月31日(金)10:00～

主な議題：

- ・検討委員会の協議題
- ・中学校の部活動の適正数と顧問の体制
- ・部活動と地域クラブの連携状況 等

##### 今後の課題と対応方針

- 検討委員会の委員について検討し、各関係団体と更なる連携強化を図る。
- 今後は、各団体の具体的な取り組みについて、話し合い、生徒の休日の活動の場の創出に努める。
- 検討会議では、中学校の部活動と地域クラブとの連携について、現状を確認しながら、方向性を定めて取り組んでいく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

- 寒河江市と西村山地区の近隣町の部活動改革担当者との連携および、ネットワークの構築。
- 地域クラブ指導者等研修会の開催（7月・11月）の周知を西村山地区へ広げ、近隣町の部活動改革担当者へも参加を依頼。
- 地域クラブが参加者の対象地域を広げてクラブ員を募集することを願います。寒河江市内の生徒を対象としたクラブ員の募集を基本とするが、近隣町からの参加を希望者の受け入れも検討する。
- 西村山地区教育長会議において、部活動改革について話し合う時間を設けた。各市町での部活動改革の取り組み状況について情報交換を行った。

##### 各自治体の役割

- 寒河江市が主催する地域クラブ指導者等研修会において、各町部活動改革担当者が各町の地域クラブや社会体育関係者に周知を図る。
- 各市町で学校部活動と地域クラブの活動状況について把握する。

##### 取組の成果

- 西村山地区の部活動改革担当者と意見交換を行った。近隣町の担当者からは、部活動改革の進めづらさや、各市町の事情で、担当部署の違いから、横のつながりがとりにくい状況があるという意見があり、各町の現状を把握することができた。
- 市指導者研修会へ、近隣町の担当者が事務局として参加された。事業を見合い、指導者研修会のねらいについて共通認識を持つことができた。
- 部活動改革担当者が持つ課題や疑問点を会議時以外でも連絡を取り合うことができるようになった。

##### 今後の課題と対応方針

- 部活動の中には、部員数が少なく、存続が困難な部活動もある。他町からの加入も認めている地域クラブを増やし、少人数の部活動の出身者も継続して同じ種目にとり組むことができるようにする。
- 各市町の学校部活動と地域クラブの連携の状況について情報共有する。西村山地区で、1クラブしかない場合は、そのクラブに西村山地区から加入することができるように環境整備をする。また、地区内に同一種目で複数の地域クラブがあっても継続が難しいと推測できる場合には、調整の検討もする必要がある。
- 地域クラブの募集範囲が広がった時には、生徒の活動場所までの移動手段、送迎の課題がある。公共交通機関も、多くないため検討課題となる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

### オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

- 部活動にはない種目や複数の運動種目を体験できるスポーツ少年団をモデルケースとして取り上げた。
- カヌー体験、ライフジャケットでの水難事故防止啓発活動への参加、キャンプ体験等。
- 部活動の種目にこだわらずに様々な体験をしたり、社会とつながることを大切にする。
- 幼稚園児から高校生までが在籍し、年代を問わず、協力しながらスポーツを含めた経験ができる。

##### 活動の詳細

参加人数	6人(中学生) 全41人(幼稚園から高校生)	指導者数	3人
属性	寒河江市スポーツ少年団 複合種目		
具体的な内容	カヌー体験、ライフジャケットでの水難事故防止啓発活動、キャンプ、野外炊飯、ティラノサウルスレース参加、ごみ拾いボランティア、レモネードスタンドへの参加、ボルダリング、座禅、茶道、モルック、寒河江さくらんぼマラソンのサポート等		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 初めてすることが多いので楽しい。</li> <li>● Bonクラスに入るといろいろなことができて面白い。ティラノサウルスレースは、足が速くなくても面白い。友達が走っているかっこうが面白かった。またやりたい。</li> <li>● 海に行く時はライフジャケットを着なきゃいけないこと、海のごみは、海で出るのではなく自分が住んでいるゴミが流れて海につくことを初めて知った。</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもたちが長く続けられるような団を目指している。(指導者)</li> <li>● 1つの種目だけではなく、いろいろな体験ができるように情報収集に努めている。スポーツだけではなく、市のイベント情報も活用し、楽しくてためになるようなイベントがあれば参加している。(指導者)</li> <li>● 小学3年生から入団している。しなければいけない活動ではなく、自分から進んで活動に参加している。子どもたちだけではなく親も参加できる活動もあるので、親にもいい刺激になる。(保護者)</li> <li>● 勝敗ではなく、子どもの成長のためになる活動が多いと思う。頭も体も使っている。こういう活動のスポーツ少年団が増えるといいのと思う。(保護者)</li> </ul>		
運営経費	年会費：12,000円 用途：保険料、登録料、会場使用料、消耗品、備品 等、イベントへの参加費は別途徴収		



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



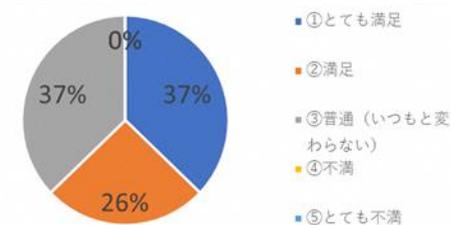
### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

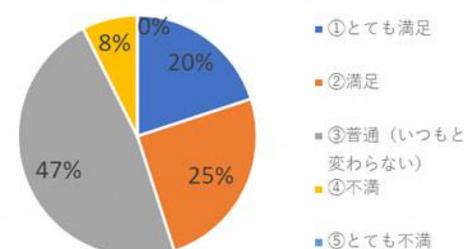
##### 取組の成果

- 参加した中学生と保護者を対象としたアンケートの結果、生徒は35人、保護者は41人から回答があった。生徒は、約63%が、保護者は約45%が、とても満足・満足と回答した。
- 実証事業では、部活動にない2種目（複合スポーツ、空手）を行った。
- 新規で中学生が集まり活動を始めた地域クラブと既に地域クラブとして活動を行っていたが、新たに会員を募り活動をしたクラブとでは、生徒も保護者も満足度に差があるようだ。
- 今年度の事業は、年度途中から始めたこともあり、**新規で会員を集めることに苦労していた地域クラブもあった。**
- 実証期間中の**教員の時間外勤務時間について。昨年度同期比より、平均2.97時間（約5.8%）削減された。**そのうち主な業務として「**部活動**」に係る日数は、**延べ約150日（約5.4%）削減された。**
- 部活動改革の取り組みの中で、休日の部活動の活動日数を段階的に削減してきた。市の取り組みと実証事業の相乗効果で教員の時間外勤務時間の削減につながっていると考える。

Q.【中学生】今回の地域クラブでの8月から12月の活動に対する満足度を教えてください。



Q.【保護者】今回の地域クラブでの8月から12月の活動に対する満足度を教えてください。



寒河江市実証事業事後アンケート（実施期間：令和6年12月～令和7年1月）の結果抜粋

##### 今後の課題と対応方針

- 保護者アンケートの中には、「もっとうまくやりたい、いろんなスポーツをやってみたい、という子どもたちが参加できるような場所の提供を」、「週2回の練習では、体力的な面で心配だが、活動日が増えると親の送迎の負担も増える」という声があった。

→寒河江市の部活動改革の目標である「生徒が主体的に参加できるス

ポーツ・文化芸術活動環境の構築」が実現できるように、さらなる環境整備に努めていくとともに、生徒にとって、適度な活動機会が得られるように、地域クラブには、「寒河江市における部活動改革のガイドライン」に則って活動してもらえるよう説明を繰り返していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

学校施設は学校部活動、スポーツ少年団、社会教育団体が減免を受け利用している。地域クラブからは、学校施設を使用する場合、施設使用料の減免措置についても検討してほしいと要望があった。そこで、検討委

員会において、地域クラブの施設使用料の減免措置の検討の前に、地域クラブの認定要件について検討することとした。

##### 取組の成果

部活動改革検討委員会（以下、「検討委員会」という。）において、地域クラブの認定要件について検討をした。その目的として、

- ① 地域クラブが「寒河江市における部活動改革のガイドライン」並びに「学校部活動ガイドライン」の趣旨を理解し、生徒の休日の活動をよりよいものとするため。
- ② 地域クラブと学校と教育委員会の連携を図るため。
- ③ 地域クラブの活動が、過度な活動となり生徒の負担とならないようにするため。
- ④ 生徒の多様なニーズに応えられるよう、ガイドラインを踏まえた活動をする地域クラブを増やすため。

##### 今後の課題と対応方針

結論として、検討委員会では、地域クラブの認定要件の検討を一時的に中断した。検討をする中で、以下の課題が挙げられた。

- ① 教育委員会が認定要件を定めることで、地域クラブが教育委員会の責任の下、運営することと誤解される可能性がある。地域クラブの責任の所在の曖昧さや自由な運営の負担になる可能性がある。
- ② 地域クラブを優先することにより、これまで活動していたスポーツ少年団や、社会教育団体と比較し不公平感が生まれる可能性がある。社会教育団体と地域クラブの線引きが難しいため、減免措置の認定が難しくなる。

課題を一度整理し、解決できるよう手立てをとる必要がある。

令和7年度以降も検討委員会において、認定要件について検討を行う計画である。同時に、地域クラブが認知度を高め、活動について周知が図られることにより、地域クラブ活動が学校部活動と同程度の重要性を持つことで、施設使用料の減免措置の認定につながってくると思われる。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

- 部活動改革を進めるためには、学校・地域クラブ・関係団体・市教育委員会・生徒・保護者が部活動改革の目的を、正しく理解し、連携・調整しながら取り組んでいくことが大切になる。
- 実証事業の受託を機に、新たに地域クラブが立ち上がり、生徒の活動場所が増えた。
- 地域クラブを立ち上げることで、生徒のニーズの把握、募集範囲、会員数、会費、指導者の確保など具体的な課題を考える機会となった。

#### ●今後に向けて

- 部活動改革検討委員会を軸とし、課題に対し協議を継続し、関係団体と連携しながら、課題を解決していく姿勢を持ち続ける。
- 地域クラブ担当者が集まり、運営の課題や指導での課題等を話題にできる場として、「(仮)地域クラブ連絡協議会」の設置を検討する。情報交換をし、地域クラブのよりよい運営につなげる。
- 地域クラブとまだ連携していない学校部活動の種目について、マッチングを図り、生徒の休日の活動の場作りをする。
- 部活動改革について、生徒・保護者への周知を図り、休日の活動は選択できること、活動に参加する場合は受益者負担が伴うことなども説明していく。
- 指導者研修会を継続して行い、指導者の質の維持向上を目指すとともに、指導者の発掘にもつなげる。

#### ●成果の評価

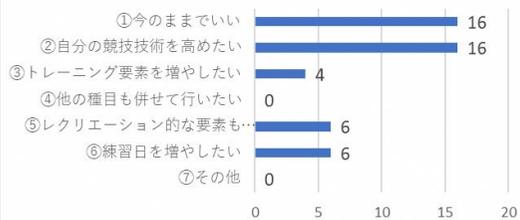
- 学校部活動の顧問と連携した地域クラブや競技連盟が主体となり運営を行った地域クラブが多かった。個人で地域クラブを運営するよりも、**組織で運営するほうが、指導者も複数いるなど、持続性が高まる傾向**があると考えられる。
- 地域クラブを運営する中で、**会費を基にした運営計画**を立てる必要があることを確認できた。これまでは、指導者をボランティアでお願いしていたが、事務局や保護者も指導の大変さを感じとり、謝金の必要性について考えるきっかけとなった。
- 部活動改革を推進していくには、関係者の正しい理解と確かな連携が必要であることを強く感じた。広報に努めるとともに、より具体的に関係団体の協力を仰いでいく。
- △ 部活動地域展開についての理解が十分でないことが感じられる。
- △ 地域クラブの運営には多くの事務量が伴う。指導者は競技の指導を担当し、事務局はクラブ運営に係る事務を担当するよう役割分担してクラブ運営をすることが望ましい。
- △ 地域クラブでは、一人で指導をしている場合もあり、ケガや都合で指導ができないときなどは、生徒に十分な活動を提供できない事例も見られた。
- △ 年度途中からの実証事業であったため、既に学校部活動や地域クラブで活動している生徒が多く、新しい種目や学校部活動にない種目の地域クラブには、新規の加入者がいなかった。

## 2.実証内容と成果②

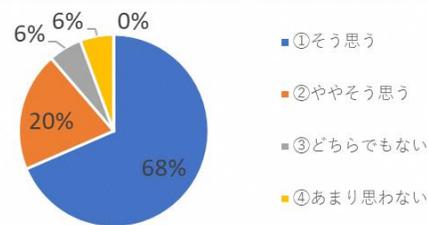
### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

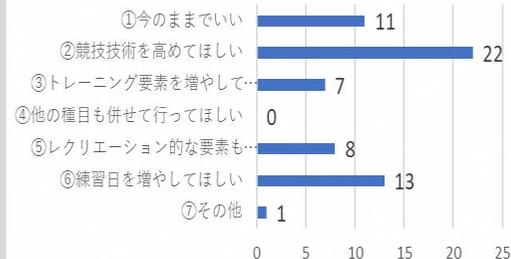
Q.【中学生】地域クラブでこういった活動ができればさらにいいと思うことに印をつけてください。(複数可)



Q.【中学生】今後も現在加入している地域クラブでの活動に参加したいですか。



Q.【保護者】地域クラブ活動でこういった活動ができればいいと思うことに印をつけてください(複数可)



Q.【指導者】地域クラブ活動を進める上で、課題と思われることを教えてください。(複数回答可)



#### ●参加者の声

##### 中学生

自分にとって良い成長ができる場所になっていると思います。今後も積極的に活動に参加していけたらよいと思います。

##### 中学生

自分がダメなところを見られているので、すぐに直せます。

##### 中学生

先生、コーチが変わり気持ちの面で大変なところがある。

##### 保護者

このクラブは学年を超えたつながりがあり楽しく参加している。特に学校でも、家庭でもない別の大人が関わってもらう機会がありいい刺激を受けている。

##### 指導者

指導者にはボランティアではない方法で続けることの難しさを感じた。認定指導者も、願いをして認定をとることになると感じる。人数が少ないクラブでは難しいことが多い。

##### 指導者

保護者から謝金をもらうことは申し訳なさや迷いがある。例えば、これからは会費が必要になることを国がCMで流すなどすると会費の意識が根付いて持続可能なものになるのではないかと感じる。

## 2.実証内容と成果③

### 収支構造の検証について

#### ●地域クラブの決算状況より

〇〇クラブ		費用	割合		月当たり	1回あたり
スポーツ活動費		308,140	96.7%	活動費全て	7704	1070
	諸謝金	234,800		諸謝金のみ	5870	815
	諸謝金（指導者）	210,800		根拠	費用/①/②	費用/③/②
	諸謝金（補助員）	24,000				
	大会参加費	5,500				
	昼食等	55,840		①	活動月数	5
	登録料	12,000		②	申込人数	8
スポーツ活動費（保険料）		10,100	3.2%	③	練習回数	36
	生徒	6,400				
	指導者	3,700				
事務局運営費		275	0.1%			
	システム使用料等	275				

寒河江△△		費用	割合		月当たり	1回あたり
スポーツ活動費		201,040	94.6%	活動費全て	4468	1241
	諸謝金	169,600		諸謝金のみ	3769	1047
	諸謝金（指導者）	153,600		根拠	費用/①/②	費用/③/②
	諸謝金（補助員）	16,000				
	会場使用料	11,300		①	活動月数	5
	会宿・イベント	9,240		②	申込人数	9
スポーツ活動費（保険料）		10,900	5.1%	③	練習回数	18
	生徒	7,200				
	指導者	3,700				
事務局運営費		480	0.2%			
	システム使用料等	480				

地域クラブ決算資料より抜粋

寒河江市●●連盟		費用	割合		月当たり	1回あたり
スポーツ活動費		197,960	86.5%	活動費全て	1200	187
	諸謝金	153,600		諸謝金のみ	931	145
	会場使用料	13,640		根拠	費用/①/②	費用/③/②
スポーツ活動費（保険料）		30,720	13.4%			
事務局運営費		275	0.1%	①	活動月数	5
	システム使用料等	275		②	申込人数	33
				③	練習回数	32

#### ●今後に向けて

- 地域クラブの運営費全体を見ると、諸謝金の占める割合が大きい。指導者が1人の場合と複数の場合とでも謝金額は大きく変化する。
- 会費収入は、会費額の増額と会員数の増員で増加する。
- 今年度は指導者謝金を一律1時間当たり1,600円と設定した。持続可能な地域クラブ運営を考えると、会費収入や会員数など、各地域クラブの状況により、謝金額を設定することも必要だと考える。
- 謝金の次に支出が大きい会場使用料については、地域クラブの負担が減らせるように、地域クラブへの減免等についても検討していく。
- 部活動から地域クラブへ活動の場を移す生徒には、地域クラブ運営に係る経費について周知し、保護者からも受益者負担の必要性について理解してもらう必要がある。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



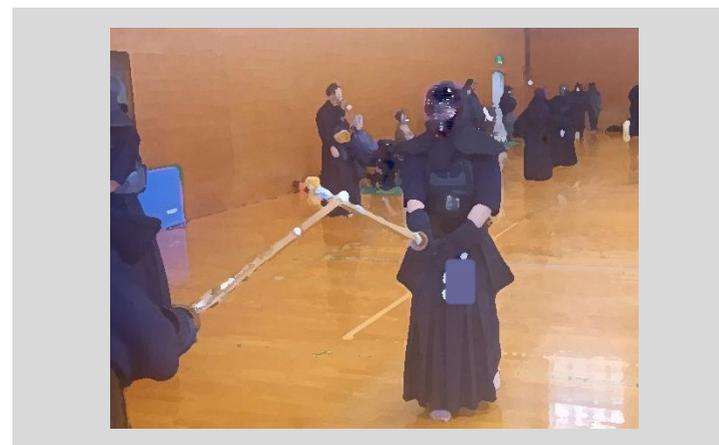
【試合の様子】



【練習の様子】



【3つの中学校の生徒が集まって練習する様子】



【大会参加の様子】

## 2.実証内容と成果⑤

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ステークホルダー

学校、スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員会、総合型地域スポーツクラブ、保護者代表、市教育委員会、総括コーディネーター

#### 経過

令和4年度より検討委員会を設置し、部活動の地域移行についての話し合いを持った。当初は、「地域移行」という文言に抵抗があり、理解が進まなかった。

令和5年度に「寒河江市における部活動改革のガイドライン」の策定のために、関係団体から意見の聞き取りをした。先進地の事例をもとに、寒河江市にあった地域移行について話し合いを進め、具体的な事例から検討できるよう、令和6年度から実証事業を開始する。

令和6年度は、地域クラブと総括コーディネーターとの面談を行い、運営の現状や運営において課題となる点についての聞き取りを行った。

#### 実施内容

令和5年7月からは市内全ての中学校の全部活動において月1回の休日の部活動を取りやめた。この時点では、地域クラブでの活動は、任意で行われた。令和6年7月から月2回の休日の部活動を取りやめた。実証事業が始まり、地域クラブ活動は全9クラブが実施された。このうち1つのクラブは、学校部活動の種目でない複合種目、体験活動を重視するクラブである。

#### 実施にあたって生じた課題

学校部活動の休日の活動の場について、スポーツ協会や競技団体に相談した際に、**学校部活動を地域に押し付けると捉えられ、協力を得るのが難しかった。**

休日のクラブ活動において、指導者の確保や会場の確保が課題として挙げられた。また、受益者負担について、保護者の理解を得るのに苦労したこと、事務局側でも今までボランティアとして行っていた中で、**指導謝金をもらうことに抵抗があるようであった。**

年度途中からの事業開始だったこともあり、新規の中学生の加入はほとんど見られなかった。次年度は年度当初から取り組めるように手続きを進めたい。

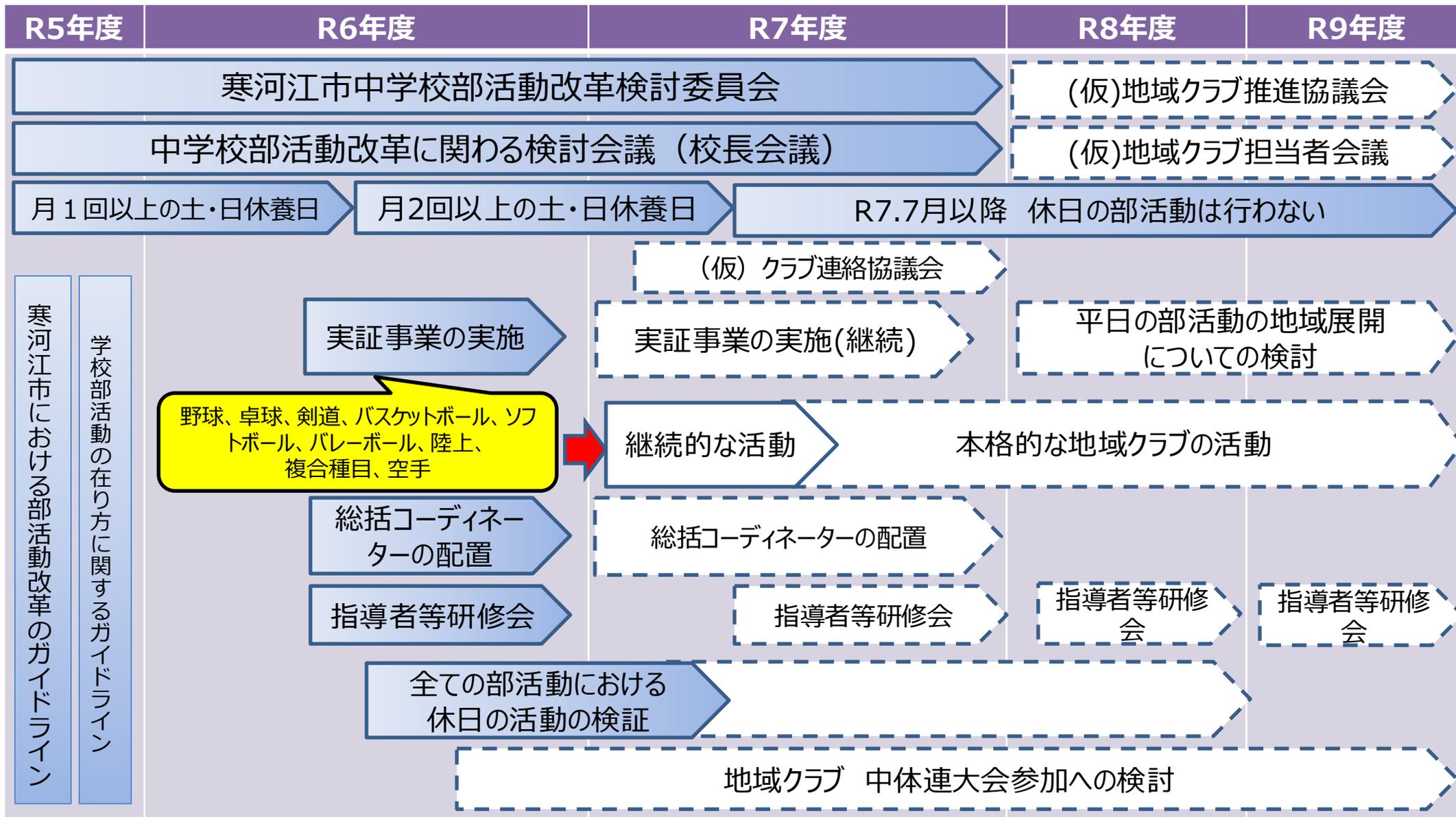
#### 今後の展開

令和7年7月からは、市内のすべての中学校において、休日に部活動は行わない。休日は、地域クラブ活動が生徒の活動の場となる。持続可能な地域クラブ運営とするために、会費を徴収し、受益者負担への理解を図る。種目によって、部活動と地域クラブのつながりが少なく、休日の活動場所がない種目がある。**競技団体への説明を繰り返し行い、生徒を地域とともに支える意識の醸成を図る。**

また、地域クラブの情報は、市で運用している「さくら連絡網」でチラシや活動紹介等を行い、地域クラブへの理解を得られるように努める。

### 3. 今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



寒河江市における部活動改革のガイドライン

学校部活動の在り方に関するガイドライン

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 山形県 上山市

自治体名：山形県上山市

担当課名：上山市教育委員会 生涯学習課

電話番号：023-672-1111（内線317）

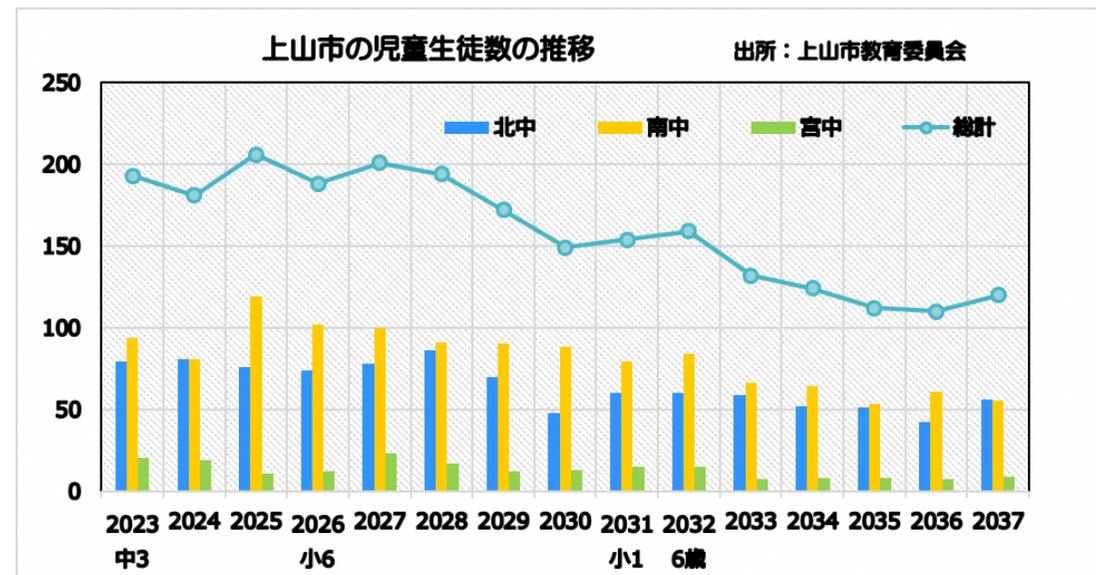
# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	241 km <sup>2</sup>
人口	27,503 人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	569 人
部活動数	25 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	検討委員会を設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	ガイドラインを策定済み

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

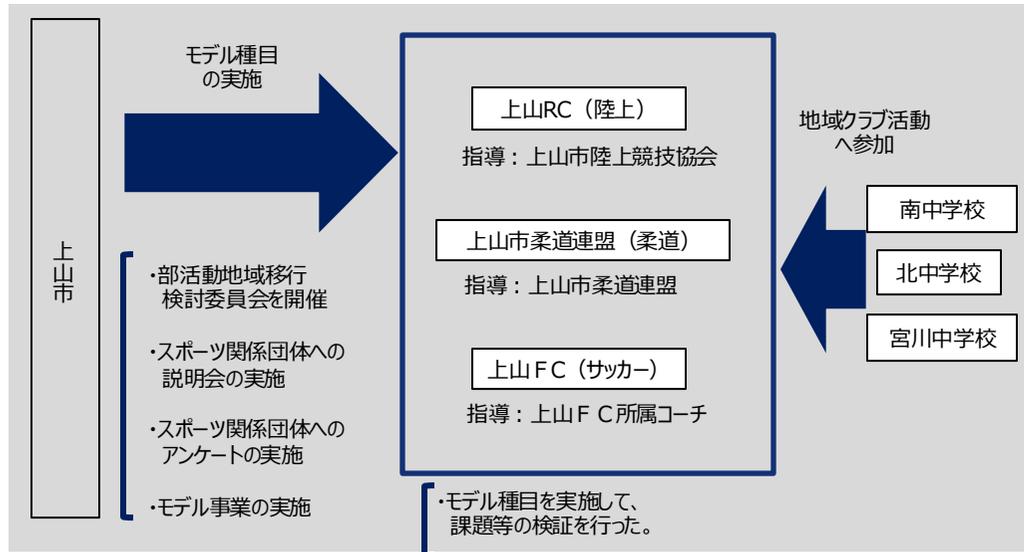
本市は少子化による児童生徒数の減少が激しく、今後5年間の推計で約20%の減少が見込まれる(参照下図)。また、部活動の加入も令和6年4月より任意となり、中学校部活動に参加する生徒数の減少傾向に拍車がかかっている。このため、団体競技などにおいて、単独では通常の練習でやりたい内容ができないといった場合や、対外試合に参加ができないといった部活動が複数出ており、希望者が活動を続けられるように対策が必要である。令和6年度はサッカー種目においては3校合同チームの編成の対策をとった。また、部員不足が続く部活動については、廃部へ向けて来年度の新規入部者募集を停止することも決まっており、今後も廃部が増えると希望する種目に取り組める環境がないといった問題が発生する。これらのことから、生徒が安心して希望の種目に取り組めるよう、また、地域における生涯スポーツの活動の場として、地域での受け皿となる地域スポーツクラブを構築していく。



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・学校教育課…学校との調整・連携

##### ◎首長部局

- ・生涯学習課…部活動改革の主幹、検討委員会・モデル事業の実施  
スポーツ団体との調整・連携

### 年間の事業スケジュール

令和6年4月	生徒・保護者向け説明会 部活動任意加入 スタート
令和6年6月	教員アンケート 実施 第一回検討委員会 開催 昨年度までの報告、 令和6年度予定の確認
令和6年7月	モデル事業の実施（～12月） 生徒・保護者アンケート 実施
令和6年9月	休日の部活動月1回連続休養スタート
令和6年10月	部活動顧問アンケート
令和7年1月	スポーツ分科会 開催 部活動顧問、地域クラブ向けに 市の今後の方針等情報交換
令和7年3月	第2回検討委員会 開催 令和6年度の報告、 令和7年度の方針の確認

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	3 校	実施した地域クラブ総数	3 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 クラブ（6 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	15 人	全体の運営スタッフ数	6 人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
上山RC	地域スポーツ団体等	陸上	月 2 回	8:00~12:00	1年7名 2年8名 3年9名	7~12月	蔵王坊平アスリートヴェルジ、山形市陸上競技場	2 人	2 人 (内、兼務 0 人)	年会費 1,300円	中体連のみ：部活動
上山市柔道連盟	地域スポーツ団体等	柔道	月 2 回	19:00~21:00	1年8名 2年6名 3年4名	7~12月	体育文化センター	15 人	2 人 (内、兼務 0 人)	年会費 800円	中体連：部活動 その他：部活動または地域クラブ
上山FC	地域スポーツ団体等	サッカー (新)	週 3 回	18:30~20:30, 9:00~12:00	1年10名 2年20名 3年7名	7~12月	体育文化センター、南中学校	5人	2 人 (内、兼務 0 人)	年会費 800 円、別途遠征費	中体連：部活動 その他：部活動または地域クラブ

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- ニュースポーツ体験会 普段運動部活動に参加していない生徒も、もっと上のレベルを目指したい生徒も参加できる総合型地域スポーツクラブ主催の体験会 3回実施

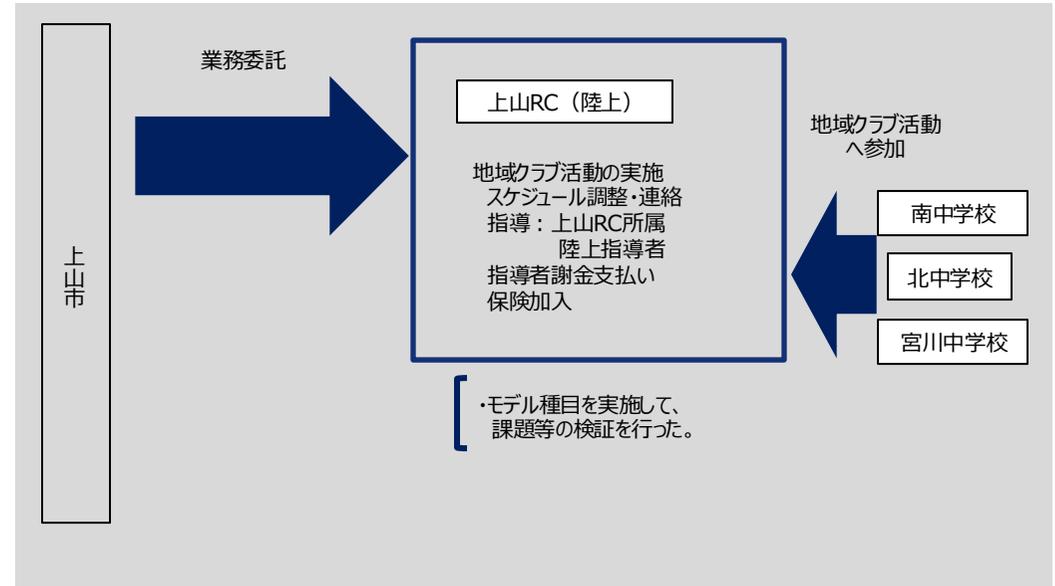
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●上山RC 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上
運営団体名	上山RC
期間と日数	7月1日～12月31日 月2回程度
指導者の主な属性	陸上連盟所属
活動場所	蔵王坊平アスリートヴィレッジ、 山形市あかねヶ丘陸上競技場
主な移動手段	スクールバス、自家用車、自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	1,300円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒：800円/年 指導者：1,850円/年

#### ●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 運営スタッフ 2名  
役割：練習日程調整、会場確保、学校・保護者への連絡、保険加入
- 指導者 2名  
役割：陸上の技術指導

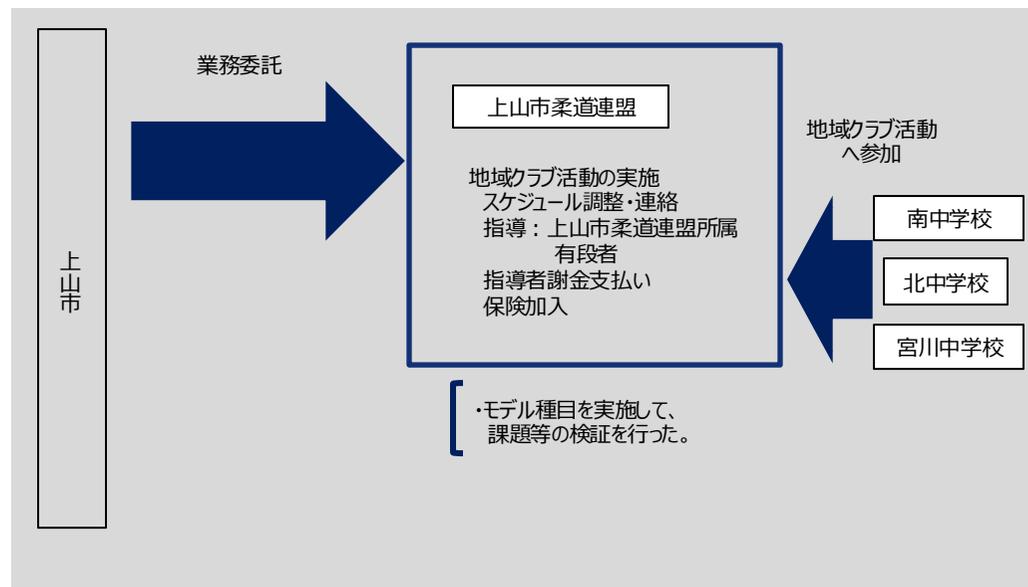
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ● 上山市柔道連盟 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	柔道
運営団体名	上山市柔道連盟
期間と日数	7月1日～12月31日 月2回程度
指導者の主な属性	柔道有段者
活動場所	上山市体育文化センター
主な移動手段	自家用車、自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	800円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒：800円/年 指導者：1,850円/年

#### ● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

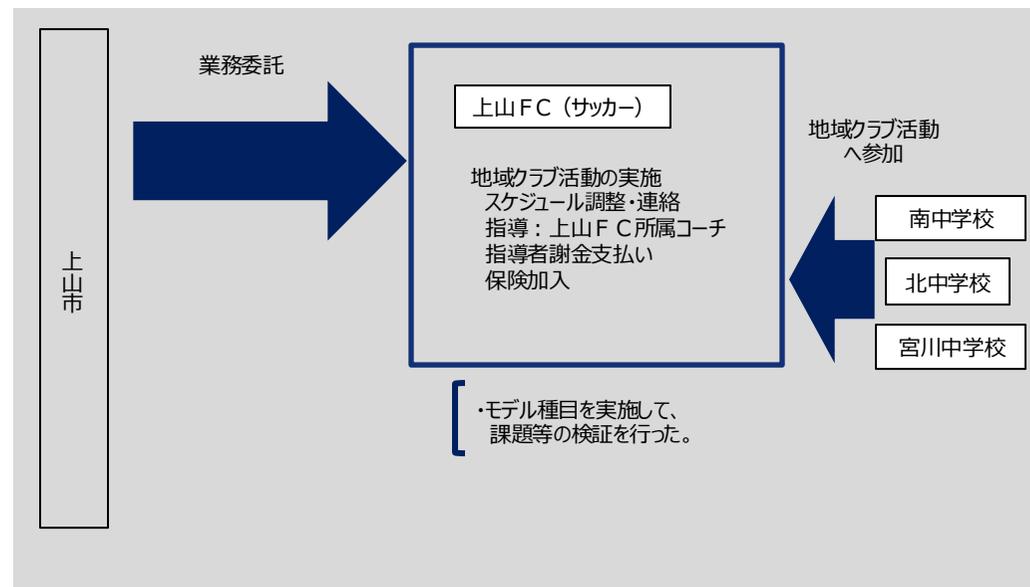
- 運営スタッフ 2名  
役割：練習日程調整、会場確保、学校・保護者への連絡、保険加入
- 指導者 15名  
役割：柔道の技術指導

## 主な取組例

### ●上山FC 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー
運営団体名	上山FC
期間と日数	サッカー：7月1日～12月31日 週2～3回程度
指導者の主な属性	サッカー経験者
活動場所	上山市体育文化センター、 上山市立南中学校
主な移動手段	自家用車、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	800円 別途遠征費 1,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒：800円/年 指導者：1,850円/年

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 運営スタッフ 2名  
役割：練習日程調整、会場確保、学校・保護者への連絡、保険加入
- 指導者 5名  
役割：サッカーの技術指導

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

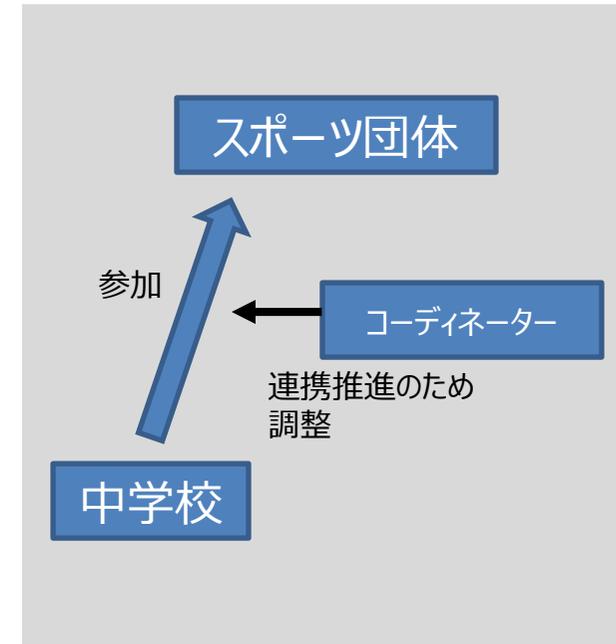
#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○総括コーディネーターを1名配置し、関係団体、学校、保護者と連絡調整、助言を行う。

##### 取組の成果

○総括コーディネーターを配置し、関係団体と中学校との連携を図った。検討委員会の開催における準備、議事録などの業務の他、関係者（指導者、中学校教諭、保護者、生徒）へアンケート、ヒアリングなどを行い、情報収集や連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。



##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- 中学校部活動顧問、関係団体、保護者へアンケートおよびヒアリングを実施し、現状把握
- 検討委員会・分科会を開催し地域との連携に努めた

##### 今後の課題と対応方針

- 各種目毎に状況が異なるため、コーディネーター1人では対処しきれない部分があるので、令和7年度はコーディネーターを2人とする。
- 地域クラブを支援しやすいように、公的支援の対象とする地域クラブの基準を調整設定し、登録されたクラブを支援する制度を作っていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

指導者確保のため、上山市スポーツ協会および、スポーツ協会所属の各団体へ協力を依頼した。また、令和5年秋に実施した部活動地域移行への協力についてのアンケートを基に、協力可能または可能性があると感じた団体にヒアリングを行った。山形県スポーツ協会が立ち上げた人材バンク（リーダーバンクやまがた）も参照し、生徒のニーズに合う指導者を探した。地域移行の受け皿になりうるスポーツ協会所属のスポーツ団体に対して、指導者の確保の観点から、県から紹介のあった指導者研修会などの開催要項などの情報を共有し、研修会への参加を打診した。

##### 取組の成果

上山市スポーツ協会からは協力する旨了解を得たが、現在は人材バンクなどは行っておらず、すぐに協力できる体制ではない。当面は各団体への連絡などを取り持ってもらうなどの協力になる見込みである。アンケートの結果、協力できる、または協力できる可能性があると感じた団体にヒアリングをした結果、サッカー上山FCより部活動の受け皿となるべく令和6年度より参加規模を拡大してクラブ運営を試みたいと申し出があったため、新規地域クラブとしてモデル事業に採用した。人材バンク（リーダーバンクやまがた）は参照したが、生徒のニーズにあう指導者が登録されていなかった。今後も必要に応じて利用を検討する。

令和7年1月に「中学校部活動 部活動地域移行アンケート」を市内中学生とその保護者に実施した。「地域クラブ活動に期待するもの」の項目における中学生の複数回答結果は、「自身の技術力の向上」は79.9%、「専門性の高い指導」は46.9%であった。同様に、保護者の回答は、「専門性の高い指導」は48.3%、「子供の技術力の向上」は44.3%であった。両者とも、指導者の専門的な技術指導を望んでいることが明らかになり、そのような指導者確保が課題となる。

同時期に、モデルクラブの3団体に所属する中学生に、振り返りのアンケートを実施した。「指導の分かりやすさはどうでしたか？」の項目中、「アドバイスが的確である」には、上山FC中学生が61.5%、上山RCの中学生が92.8%、上山市柔道連盟中学生が33.3%となり、指導について概ね好感を得ている閣下となった。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

○スポーツ協会、スポーツ少年団、競技団体、大学等との連携に関する取組

○スクールバスや地域クラブが手配した送迎バスの利用に関する取組

##### 取組の成果

○市スポーツ協会役員との打合せを複数回実施し、スポーツ協会の事業計画に盛り込んでもらい、連携して取り組むとともに加盟団体からの協力についても依頼した。

○スポーツ関係団体を対象にして部活動地域移行に関する説明会、分科会を実施し、情報提供を行うとともに意見交換により地域移行についての理解を深めた。

○令和5年度に実施したアンケートをもとに競技団体へヒアリングを実施し、各団体の活動状況や受け入れの際の課題等について現状把握を行った。

○モデル事業で送迎バスを利用した。陸上では練習場所が上山市内から離れているためスクールバスを利用して送迎を行った。サッカーは立上げ当初は市内練習でも市バスで送迎したが、その後、保護者と話し合い、市内では送迎なしとした。市外での練習試合ではレンタカーを利用し送迎を行った。

#### バス等の運行実績

- ・日数 ①3日（陸上）  
②2日（サッカー）
- ・利用者数 各20人程度
- ・運行経路

- ①上山市内～蔵王坊平アスリートヴィレッジ  
上山市内～山形市陸上競技場
- ②上山市内～仙台市内  
上山市内～真室川町

#### バス等の運航経費・収入

- ・利用料
- ①陸上 スクールバスを利用、運転手込  
13,000～16,000円/回  
(10分あたり770円(消費税込))
- ②サッカー レンタカーを利用、指導者が運転  
レンタカー代 約30,000円/日  
ガソリン代 約3,500～5,000円  
別途 高速道路利用料金

#### 今後の課題と対応方針

- ・生徒が取り組みたい種目と指導者の調整が十分ではないので、今後より広く指導者を求めていく。指導者が指導しやすい環境づくりのため、謝金や、組織体制の整備を行う。
- ・送迎の問題は、財源の問題と、運転手の確保の両方がある。特に運転手の確保は難しく解決にはこれまでとは他の分野との連携を検討していく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

生徒のニーズに応じた活動の検討

活動の詳細			
参加人数	約80人	指導者数	約10人
属性	部活動を地域移行した形のクラブ数		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上指導者による、部活動よりも専門的な練習（対象は市内中学生）</li> <li>・柔道有段者による、部活動よりも専門的な練習（対象は市内中学生）</li> <li>・サッカー経験者による、部活動よりも専門的な練習（対象は市内中学生）</li> </ul>		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の能力が高められたり、課題点を見つけることが出来た。</li> <li>● 楽しく専門的な練習ができて良かった</li> <li>● 技能が高まったがテスト期間に開催しないでもらいたい</li> <li>● 友達が増えた。プレーの幅が広がった。活動が楽しい。</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者・生徒との連絡が取りづらい</li> <li>● 保護者からの会費は徴収しにくいので資金面での支援が行政から欲しい</li> <li>● 学校によってテストなどの日程が異なるので練習日程が組みにくい</li> <li>● 送迎してもらえると親の都合に関係なく子供が希望するときに参加させられる</li> </ul>		
運営経費 (1回あたり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上 約31,000円 送迎バス15,000円、指導者謝金12,800円（2人×4hr）、その他経費3,000円</li> <li>・柔道 約13,000円 会場費1,200円、指導者謝金9,600円（3人×2hr）、その他経費2,000円</li> <li>・サッカー 約19,000円 会場費・照明代5,000円、指導者謝金9,600円（3人×2hr）、その他経費4,000円</li> </ul>		

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

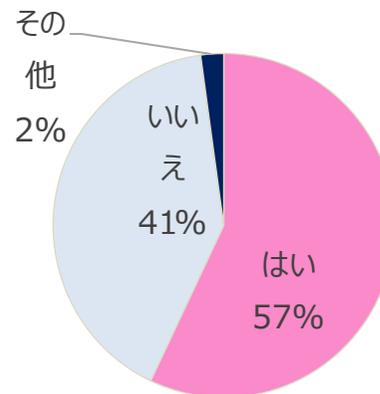
#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

##### 取組の成果

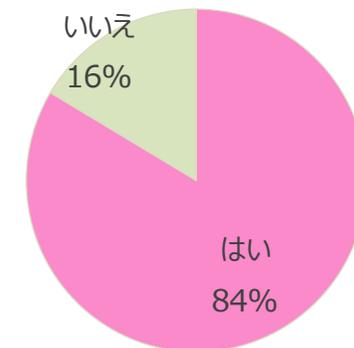
- ・地域クラブでも部活動と同じ種目に参加したい生徒が多かったので、部活動と同じ種目の地域クラブを優先的に整備した
- ・より専門的な指導に対するニーズに対して、部活動顧問と比べてより専門的な知識をもつ指導者をお願いした。
- ・他校生徒との交流に対するニーズに対して、市内全中学生を対象としたクラブとしたので、他校生徒と交流できた。

##### 今後の課題と対応方針

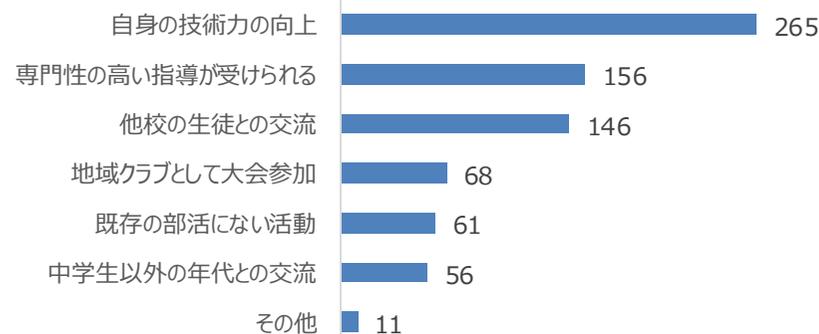
モデル事業で取り組んだ陸上、柔道、サッカーの3種目はともに保護者の協力も得られ、参加者からの反応はおおむね好意的であった。しかし、活動の質を保つために必要な経費を今後全て生徒からの会費で賄うとすると、保護者が支払い妥当と考えている会費では賄うことが難しい。実態にあった会費の徴収を行うため保護者への丁寧な説明と、クラブの内容のさらなる充実、会場の選定や回数の最適化などが求められる。今後回数を増やしていくと更に経費が掛かるため、行政も資金面の補助として会場費の減免、補助金なども検討が必要となる。また、練習日程の調整や連絡について、参加生徒の在籍校が複数あるため、あまりスムーズではなかった。また、クラブ運営には事務処理などの業務が負担となっているので、事務処理を行政が支援するクラブ組織の構築や連絡アプリなどの活用も検討し、指導に集中しやすい環境を整えたい。練習内容の充実のため、指導者研修会などを企画または紹介するなどして、指導者スキルの向上を行政側でも促したい。



Q. 休日に地域クラブに参加しますか？



Q. 休日の地域クラブは部活動と同じ種目ですか？



Q. 休日の地域クラブに期待することを教えてください

出典：市内中学生向けアンケート（令和6年9月実施）

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

地域クラブの持続可能な運営のため、実証事業における収支構造の可視化を行い、適切な受益者負担額の設定や公的資金のバランスについて検証を行った

##### 地域クラブに係る経費（サッカー 上山FCの場合 会員数約30名）

■イニシャルコストの分析  
特になし

■ランニングコストの分析（1か月 約19万円） 詳細は次ページ参照

- ・会場借料 約50,000円（5,000円/回×10回）
- ・指導者謝金 約96,000円（3人×1,600円/Hr×2Hr×10回）
- ・大会参加費・登録料 約500円/人  
（大会参加費：年間チームあたり 中体連、3,000円、サッカー連盟2,500円、その他試合参加料、  
選手登録料：年間 中体連3500円/人、サッカー連盟700円/人）

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

持続可能な運営に必要な受益者負担額試算を行った  
（検証結果は次ページ参照）

##### 収支バランス

収支バランスについて試算を行った  
（検証結果は次ページ参照）

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

令和6年度モデル事業の結果よりクラブ運営収支構造の検証を行った。スポーツ保険料は入会時に受益者が負担することとし、残りの経費を会員数（令和6年度の平均である30名）で月割りし、受益者負担を算出した。陸上と柔道は月2～3回の練習会、サッカーは月10回程度で試合にも参加するなどの違いがある。サッカーは一回あたり経費は630円ほどだが、月10回の練習なので、月会費は6,300円程度となる。一方保護者アンケートでは月会費2,000円程度の回答が最多であり、大幅に乖離がある。陸上は一回あたり1,500円/回で月3,000円、柔道は一回あたり800円で月2,500円となる。保護者のアンケートからは1回500円程度と希望があり、こちらも必要経費との差がある。行政で運営資金面の支援を検討する必要がある。

##### 今後の課題と対応方針

モデル事業の結果から、会員一人あたり1,000円/月の補助金、更には会場費や送迎の補助などが検討必要と考えられる。サッカー上山FCは先を見据えたモデルで練習は月平均10回行われていて、次ページにある月2～3回の活動と比較して、回数も多く、対外試合も含めているため必要経費が高額になる。1,000円/人・月の補助を適応した場合、5,300円程度、さらに会場費を全免すると3,600円程度となる。しかし両方の補助が付く場合、市の負担は年間100万円程度であり、保護者の希望である会費2,000円なることは現実的ではない。陸上では送迎バスが高額となっていることもあり、それぞれのクラブにあった行政の支援方法などを検討し、継続可能な仕組みづくりを構築する。併せて保護者からの理解が得られるよう、必要経費についても説明も丁寧にしていきたい。

支出（1か月あたり）					費用	割合
スポーツ運営費					¥189,117	
項目	単価	回数	人	時間		
諸謝金	1600	8	3	2	¥76,800	39.4%
	1600	2	3	3	¥28,800	14.8%
借損料	会場費	5000	10		¥50,000	25.6%
	レンタカー	30000	0.25		¥7,500	3.8%
消耗品	70000	0.083			¥5,810	3.0%
交通費	8000	0.25			¥2,000	1.0%
雑役務費	140	1			¥140	0.1%
登録料・参加費	500		30		¥15,000	7.7%
保険料	生徒	800	0.083	30	¥1,992	1.0%
	指導者	1850	0.083	7	¥1,075	0.6%
事務運営費					¥2,000	
事務手数料	2000	1			¥2,000	
合計					¥191,117	100.0%

会員数	30名
指導者数	7名

練習回数	
平日(2Hr)	8回
休日(3Hr)	2回



収入				
	受益者負担		公費負担	
	月額	1回あたり	月額	年額
全額	¥6,304	¥630	¥0	¥0
補助金1000円/人	¥5,304	¥530	¥30,000	¥360,000
会場費補助	¥4,637	¥464	¥50,000	¥600,000
更に補助金1000円/人	¥3,637	¥364	¥80,000	¥960,000

出典：令和6年度モデル事業を基にした収支試算 上山FC

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

#### 資料

陸上  
上山RCの場合

支出(1か月あたり)					費用	割合
スポーツ運営費					¥61,185	
項目	単価	回数	人	時間		
諸謝金	1600	2	2	4	¥25,600	40.3%
消耗品	70000	0.083			¥5,810	9.2%
交通費	14000	2			¥28,000	44.1%
雑役務費	140	1			¥140	0.2%
保険料	生徒	800	0.083	20	¥1,328	2.1%
	指導者	1850	0.083	2	¥307	0.5%
事務運営費					¥2,000	
事務手数料	2000	1			¥2,000	
合計					¥63,185	100.0%



会員数	20名	練習回数	
指導者数	2名	休日(4Hr)	2回

収入				
	受益者負担		公費負担	
	月額	1回あたり	月額	年額
全額	¥3,093	¥1,546	¥0	¥0
補助金1000円/人	¥2,093	¥1,046	¥20,000	¥240,000
交通費補助	¥1,693	¥846	¥28,000	¥336,000
更に補助金1000円/人	¥693	¥346	¥48,000	¥576,000

柔道  
上山市柔道連盟練習会の場合

支出 (1か月あたり)					費用	割合
支出					費用	割合
スポーツ運営費					¥35,411	
項目	単価	回数	人	時間		
諸謝金	1600	3	3	2	¥28,800	76.6%
借損料	会場費	1100	4		¥4,400	11.7%
雑役務費	140	1			¥140	0.4%
保険料	生徒	800	0.083	15	¥996	2.6%
	指導者	1850	0.083	7	¥1,075	2.9%
事務運営費					¥2,000	
事務手数料	2000	1			¥2,000	
合計					¥37,411	100.0%



会員数	15名	練習回数	
指導者数	7名	平日(2Hr)	2回
		休日(2Hr)	1回

収入				
	受益者負担		公費負担	
	月額	1回あたり	月額	年額
全額	¥2,428	¥809	¥0	¥0
補助金1000円/人	¥1,428	¥476	¥15,000	¥180,000
会場費補助	¥2,134	¥711	¥4,400	¥52,800
更に補助金1000円/人	¥1,134	¥378	¥19,400	¥232,800

出典：令和6年度モデル事業を基にした収支試算 上山RC、上山市柔道連盟

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

受益者負担を軽減するべく体育施設の減免の必要性を検討した。

##### 取組の成果

上山市内にある利用可能な体育施設は、学校施設と公共体育施設があり、どちらも利用料が必要となる。施設利用料については市内在住の参加者が半数以上である場合は減免対象であるが、照明など電気料金がかかる項目に関しては、実費となるため、減免対象外となっている。しかしながら、部活動を地域クラブへ移行する場合、指導者の指導可能な時間が遅い時間であることが多く、照明の利用が見込まれる。令和6年度のモデル事業ではサッカー上山FCが夜間の練習が多く、施設利用料が毎回5,000円程度かかっており、必要経費の多くを占めている（約25%）ことがわかった。また、別の地域スポーツクラブで今後利用が見込まれる野球場の照明施設は更に高額で11,000円/120分と設定されている。

##### 今後の課題と対応方針

グラウンド照明については水銀灯を利用しているため、電気料金が高く、減免するとその費用は行政負担となる。負担できるように財源を確保する、もしくは電気料金の安価な別の施設（市内高等学校施設を利用申請中）で活動できるように整備、調整するなどして、受益者の負担を減らすようにしていきたい。

球 場	アマチュアスポーツ使用時	1時間につき	490	990
	職業野球使用時		その都度定める	
	ナイターカード 全灯/(2/3灯)	90分(約120分)	8,250	16,500
		120分(約160分)	11,000	22,000

グラウンド	グラウンド	1時間につき	330	660
	放送設備		440	
	夜間照明施設	全灯使用	4,400	
		1/2使用	2,200	

出典：令和6年度上山市体育施設利用料金一覧（税込）

支出（1か月あたり）					費用	割合
スポーツ運営費					¥189,117	
項目	単価	回数	人	時間		
諸謝金	1600	8	3	2	¥76,800	39.4%
	1600	2	3	3	¥28,800	14.8%
借損料	会場費	5000	10		¥50,000	25.6%
	レンタカー	30000	0.25		¥7,500	3.8%
消耗品	70000	0.083			¥5,810	3.0%
交通費	8000	0.25			¥2,000	1.0%
雑役務費	140	1			¥140	0.1%
登録料・参加費	500		30		¥15,000	7.7%
保険料	生徒	800	0.083	30	¥1,992	1.0%
	指導者	1850	0.083	7	¥1,075	0.6%
事務運営費					¥2,000	
事務手数料	2000	1			¥2,000	
合計					¥191,117	100.0%

出典：令和6年度モデル事業を基にした収支試算 上山FC

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

上山市は令和6年度は3種目の地域スポーツクラブに対してモデル事業を行った。昨年度は個人種目である陸上と柔道で実施したが、令和6年度は団体種目であるサッカークラブを追加した。これらのクラブはいずれも市内中学生の希望者はだれでも加入可能であるが、実質は部活動の部員が会員の大半を占めている。会員は、学校の枠をこえて市内の中学生と一緒に、部活動よりも専門的な指導者から指導が受けられた。陸上、柔道については月2～3回の練習会が開催され、サッカーについては平日も含め月10回の練習会だけでなく、対外試合などにもチームとして参加するなどの活動も行っており、平日の部活動地域移行も視野に入れた取り組みとなっている。参加者の評価はおおむね好意的であり、令和7年度以降も継続を検討している。しかし今後もクラブを運営していくための課題として、経費の受益者負担、会場の確保、送迎、連絡方法等、事務処理の負担について課題が抽出された。特に経費については指導者の都合により練習開始時間が午後7時以降となるケースが多く、照明施設があり、また、市内どこからでもアクセスがしやすい場所ということで、学校施設ではなく利用料金の高い公共運動施設を利用するが多かった。また陸上では遠方の体育施設を利用するため、送迎バスを運行し費用がかさんだ。また事務処理が負担であることや連絡が難しいとの意見もあったため、今後は受益者負担と公費のバランス、運営事務の支援や連絡手段についても検討したい。

#### ●成果の評価

団体種目のサッカーの地域クラブ上山FCをモデル事業に追加することで、さらに様々な種目に応用できる地域スポーツクラブの運営を検証できた。これまであまり問題とならなかった場所の確保の難しさ、試合出場など、団体種目ならではの課題が見つかった。陸上は参加者の満足度も高く、活動がうまくいっているが、練習場が遠方にあることから、会員を増やしたり回数を増やしたり一人当たりの会費負担を減らす工夫が必要となる。柔道は専門の指導者がおり、恵まれた環境であるため、情報公開等によって参加しやすい環境をつくり、会員を増やしていきたい。

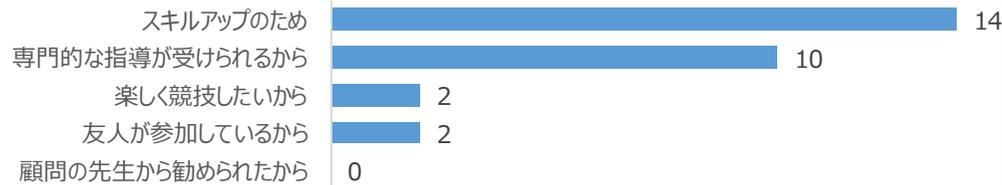
#### ●今後に向けて

今後は別の競技種目での検証も行い、受益者負担と行政負担分のバランスの検討や、会場の確保・利用料の設定、送迎や、連絡方法などについて改善し、クラブ運営が継続しやすい環境を構築していく。クラブ運営の負荷を軽減するため、事務処理などの指導以外の部分は総合型地域スポーツクラブに委託し、支援できる体制を検討する。連絡方法については、連絡アプリなどの導入も検討する。

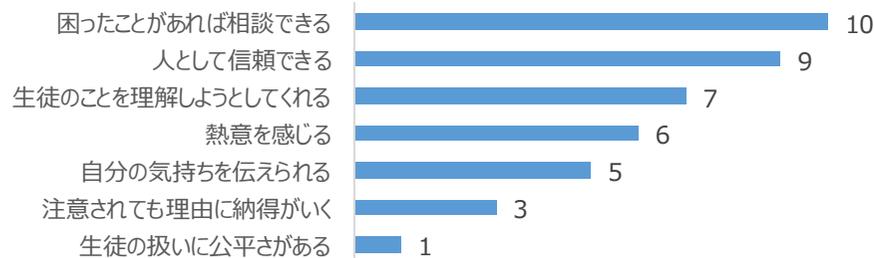
### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

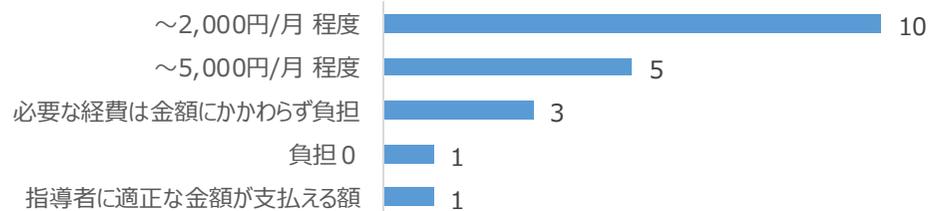
##### Q.地域クラブに参加した動機



##### Q指導者との関係は？



##### Q月会費として支払える金額は？



#### ●参加者の声

##### 中学生

普段とは違って刺激になった  
顧問の先生よりもとても分かりやすく教えてくださった  
楽しく専門的な練習ができて良かった  
スキル向上することができた  
他の学校の人と関わってよかった  
一生懸命に取り組めてよかった  
用品の準備をして欲しい  
テスト期間に開催するのを控えてほしい

##### 保護者

始めは部活動の地域移行からですが、中学を卒業しても、競技を続けたい人が集まり、教えられたり教えたりする場がある事で、本人だけでなく地域にも根付くのではないかと思います。真剣に向き合っていたことに感謝しかありません。生徒とはもちろんですが、親とも信頼関係を築いていただいた。

##### 指導者（など）

部活の予定が決まらないとクラブの予定が組みにくい。  
クラブチームと部活動の良い所を両方引継げる様な組織作りとサポート体制を構築したいです。  
運営資金の援助や会場の予約の簡略化

出典：モデル事業参加者令和7年1月実施

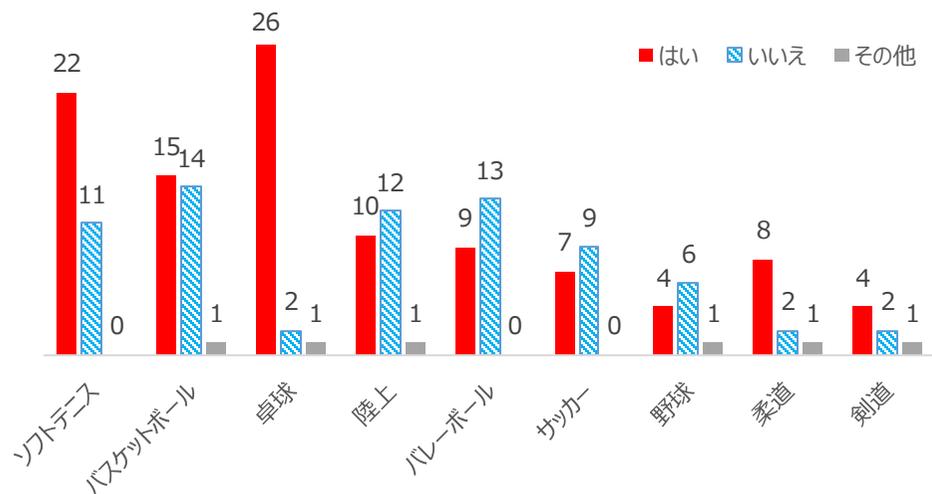
## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

地域移行を想定した地域クラブモデル事業は、母体が部活動であったため  
会員募集はチラシなど作らず、顧問の先生や関係者を通じての勧誘となっ  
た。アンケートは令和6年春に部活動の地域移行に関する内容で教師、

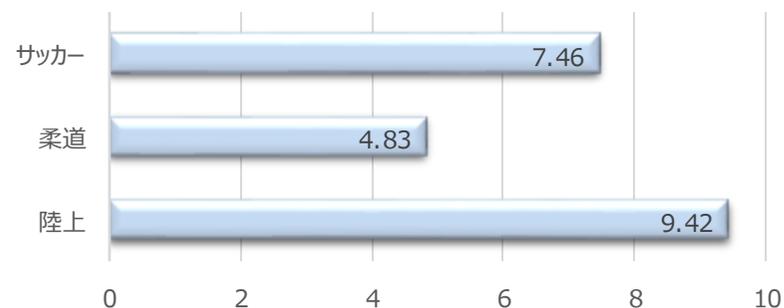
生徒、保護者に対して実施した。また、モデル事業として取り組んだ3種  
目については、委託期間終了後令和7年1月に参加者、保護者、指導  
者に対してアンケートを行った。

モデル事業として取り組んだ地域移行を想定した地域クラブは、チラシなど作らず、顧問の先生や関係者を通じての勧誘であったため、活動開始は少人数であったが、口コミで広まり、モデル事業が終わる12月には部活動を引退した3年生の中で会員となり競技に取り組む生徒もでてくるなど、予想していたよりも会員数が多くなった。アンケートの結果からも、クラブ活動開始前の春に行われた結果では、通常の部活動と同じ種目をするに積極的ではなかった生徒も多かったが、モデル事業終了後のアンケートでは今後も続けたいという生徒が多く、全体としては満足度が高かった。今後は広く会員を募るため、募集チラシを作成したり、SNSなどオンライン上での情報公開や会員募集なども行っていきたい。またアンケートのフィードバックも適宜行い、質の向上に役立てたい。



#### 【アンケート結果 市内中学生対象

土日の地域クラブでは部活動と同じ種目に参加するか？】



#### 【アンケート結果 モデル事業参加者対象 地域クラブ活動に参加しての満足度 (満点10点)】

出典:アンケート①市内中学生対象 部活動地域移行について令和6年7月実施  
②モデル事業参加者アンケート令和7年1月実施

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【陸上 上山RC 練習風景】



【サッカー 上山FC 練習風景】



【柔道 上山市柔道連盟 練習風景】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●ステークホルダー

学校、市役所、市教育委員会、スポーツ協会

#### ●経過

令和5年度より検討委員会を設置し、地域クラブの方向性について検討している。令和6年4月より部活動任意加入となり、同9月より、月一回の土日部活動完全休養が導入された。令和7年秋より月2回土日部活動完全休養、令和8年度からの休日部活動の完全地域移行を目指す。

#### ●実施内容、工夫した点

PTA総会などを利用して部活動地域移行についての説明会を開いた。

検討委員会を2回、分科会を2回開催した。

学校や生徒、保護者をはじめ、地域のスポーツ団体へアンケートを実施した。

また令和5～6年はモデル事業として2～3団体の運営状況を検証した。種目は個人種目と団体種目のどちらも検証できるようにした。

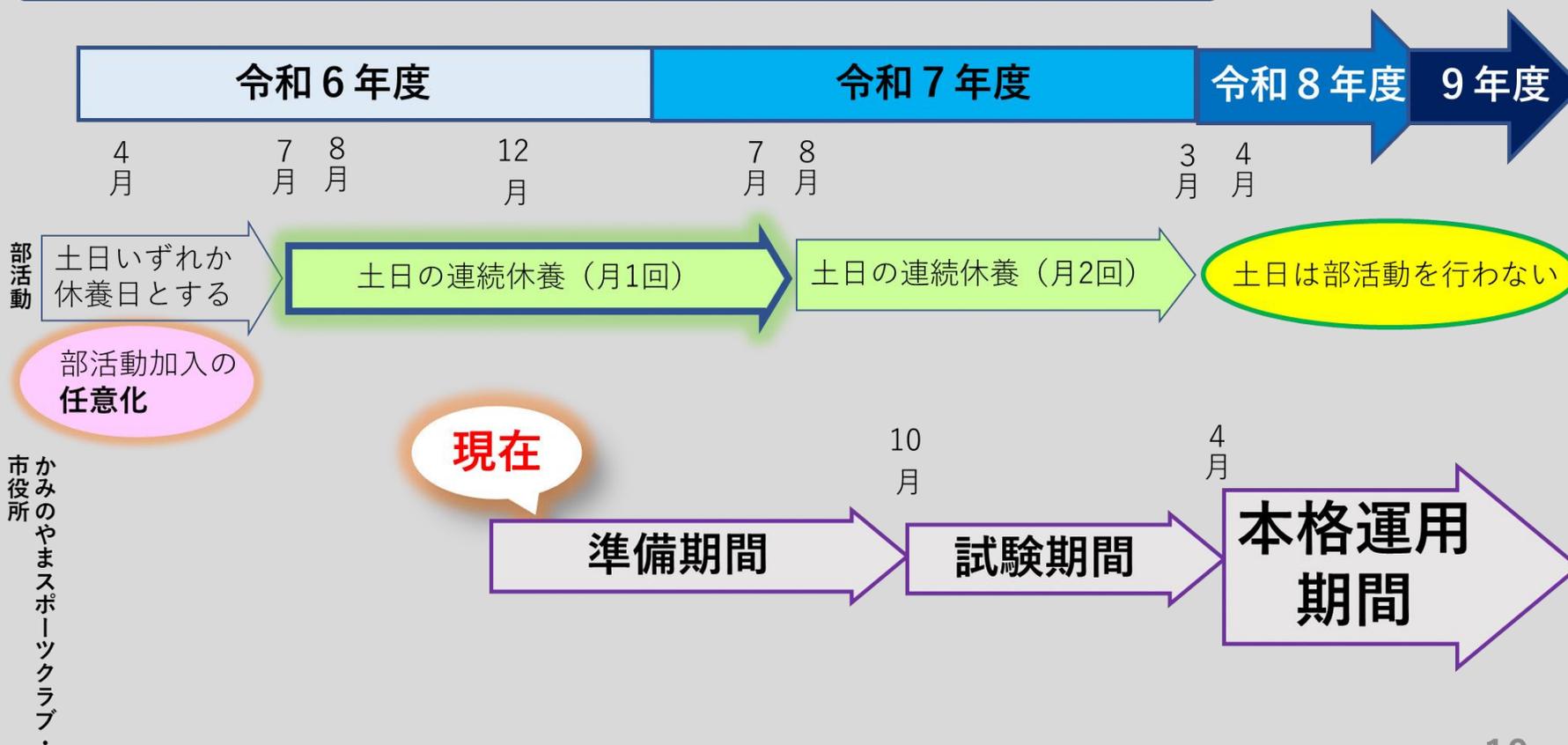
#### ●実施にあたって生じた課題と今後

モデル事業を3団体で行い、クラブ運営に係る経費を算出したところ、運営経費は高額で、その全てを受益者負担とすることは、保護者への負担が大きい。一方で保護者の希望する月会費の額では行政の負担が大きすぎるため、会場の変更や会場費の減免措置、回数などを工夫するなどして、バランスをとっていきたい。またクラブ運営は指導以外に事務処理などの煩雑な仕事が多く、指導者の負担となっていることも分かった。これを解決するために、上山市では総合型地域スポーツクラブに委託し、地域クラブの共通する事務処理を支援する試みを令和7年度から検討していきたい。また、複数校の生徒が参加することで、連絡が取りづらい状況があり、今後は、連絡アプリなどを利用していきたい。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### 上山市における今後の部活動地域移行の進め方



出典: 上山市主催 第一回中学校部活動地域校分科会での説明資料 10